

国語

小学5年

この本の使い方と特色

- 全体の構成 このテキストは、小学校五年生までに学んだことからを、選ばれた素材によって、合理的かつ総合的に学習できるように編集してあります。
- 単元の構成 一つの単元は、**確認問題** → **練成問題**の順に構成してあります。また、読解問題は、詩をのぞいて、一素材ごとに見開き完結になっています。
 - ◆ 確認問題・練成問題……基本的な問題の量、素材と問題の難易度により、確認問題・練成問題とに分けてあります。また、真の理解力と表現力を養うために、記述問題も配しています。

目 次

1 物語(1)	2	5 説明文	18
2 物語(2)	6	6 論説文	22
3 伝記・脚本	10	7 漢字・語句・ことばのきまり(1)	26
4 詩	14	8 漢字・語句・ことばのきまり(2)	30

1

物語
(1)

確認問題

- 次の文章を読んで、あとで問い合わせに答えなさい。

参考用

/

CAMP

〈小川未明「時計のない村」より〉

(1) 一線①「それ」が指している内容を、「～こと」と。という形で、書いて答えなさい。

ということ。

(2) 線② 「ちょうど二つの時計はおこそかなおきてのよう」について、

次のそれぞれの問い合わせに答えなさい。

□①「おごそかなおきて」とは、村の者にとつての時計をたどえていること
ですが、これ以外で、村の者にとつての時計をたどえている三字のこ
とばを、本文中から書きぬいて答えなさい。

□(2) ここでは、村の者にとつて時計がどんなものになつていたことが表と

ア 絶対に正しく、したがわなくてはならないもの。

ア 絶対に正しく、したがわなくてはならないもの。

とても便利で、くらしを豊かにしてくれるもの。
ウ イ
ふしぎな力で、村の者を幸せにしてくれるもの。
エ 常に正確で、規則正しい生活に欠かせないもの。

「A」が入る□をすべて選び、記号で答えなさい。

A large, empty rectangular box with a black border, intended for children to draw or write in.

1

□(4) 線③ 「それは少しの不自由もかれらに感じさせなかつた」とあります

すが、(二)から読み取れることとして最もふさわしいものを次から選び、

ア AとBの金持ちが買つてきた時計が、どちらとも正確ではなかつたと

一
六
二
七

イ 時計が村にあつた間は、
うこと。
村の者が何の不自由もなくくらして いたとい

ウ 村の者が生活していく上で、特に時計が必要とされていたわけではなかったこと。

最初に時計がきた時から、村の者は時計をあてにしてはいなかつたと
いうこと。

□(5) 本文の作者がこの話を通してうつたえようとしていることは、どんなこ

とだと考えられますか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

にも不便にもなる。

イ 人間は、文明の力を信じこんで、それにたよりすぎると、大切なものを失うことになる。

ウ 人間は、たとえ相手の考えがまちがついていても、相手にしたがい、争

いをやけなくてはならない。

練成問題

- 次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

CAMP

〈遠藤周作「白い風船」より〉

(注) 装束 || 服装。
ふくそう

修道女＝修道院でキリスト教の修行をする女性。

□(1) 一線①「そんな想像」とは、具体的にはどういう想像ですか。「」という想像。」という形で、書いて答えなさい。

□(2)
①
・
②
に入る最も、小さわしいことばを、それぞれ次から選び、記号で答えなさい。

ア すっかり元気になり
ウ ますますうれしくなり
オ なんだかこわくなり

イ だんだんおもしろくなり
エ もうがまんしきれなくなり

（3）――線②「五、六人の忍者」は、結局何（だれ）だったのですか。最もふざわしいことばを本文中から書きぬいて答えなさい。

(4) — 線③「凡太はけんめいにかけだして いた」とあります。その理由として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 空が暮れ始めた上に、ずいぶん家から遠い所まで来てしまい、心細く

イ テレビの中でしか知らなかつた忍者が現実に自分の目の前に現れ、こ

ウ 本物の忍者に会えたのがうれしく、そのことを一刻も早く両親に知らせたかったから。

工　正体を見破られた忍者たちが、自分におそいかかってくるのではない
かと思つたから。

(5) 線④ 「凡太の父親は、眞実をむすこに教えるべきか否かを迷つたが、結局だまつていることとした」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

①【眞実】にあたる内容が書かれている一続きの二文を本文中からさかし、その最初の一文の初めの七字を書きぬいて答えなさい。

にした」ことからは、凡太の父親のどのような

②「結局だまつてはいることにした」ことからは、凡太の父親のどのような気持ちが読み取れますか。それを述べた次の文の□に入る最もふさわしいことばを、ここより後の本文中から五字で書きぬいて答えなさい。

「△を大切にしてやりたいと思う気持ち。」

2

物語(2)

確認問題

- 次の文章を読んで、あとで問い合わせに答えなさい。

参考用

/

（皿海達哉「花がらもようの雨がさ」より）

□(1) 線①「初江は、ため息をついた」とあります。この時の初江の気持ちとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 河村くんもテストの点数が悪かったことにほっとする気持ち。

イ テストの点数は悪くても、せいいっぱいやったと満足する気持ち。

ウ 予想に反して、テストの点数が悪かったことにがっかりする気持ち。

エ ゆり子さんをうらやんでいる自分がいやになる気持ち。

□(2) 線②「ゆり子さんをやつづけてやりたい」とあります。ゆり子さんを「やつづける」とは、具体的には、どうすることですか。「ゆり子さん」ということばを必ず用いて、「こと」という形で、二十五字以内（句読点も字数に数えます）で書いて答えなさい。



□(3) 線③「初江は、ゆり子さんもうらやましかったが、坂本カツミのこともまた、うらやましかった」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

- (1) 初江は、ゆり子さんのどんなところがうらやましかったのですか。
「点数」ということばを必ず用いて、「こと」という形で、二十字以内（句読点も字数に数えます）で書いて答えなさい。

- (2) 初江は、ゆり子さんをうらやんでいる自分がいやになる気持ちは、何の気持ちですか。
「うらやましさ」ということばを必ず用いて、「こと」という形で、二十字以内（句読点も字数に数えます）で書いて答えなさい。



□(4) 線④「ゆり子さん、気がついたんだわ」とあります。初江は、ゆり子さんが、どんなことに気がついたと思っているのですか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 今回のテストで、河村くんは七十五点しか取れなかつたということ。
イ 今回のテストで一番よい点数をとつたのはゆり子さんだということ。
ウ カツミにとって、六十五点という点数はよい点数であるということ。
エ 返されたテストが、ゆり子さんのものではなく、初江のものだということ。



□(5) 自分の気持ちを声に出して言えずに、ぐずぐずしている初江の様子が、たとえを用いて表されている一文を本文中からさがし、その最初の十字（読点も字数に数えます）を書きぬいて答えなさい。




練成問題

- 次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

〈氷室冴子「いもづと物語」より〉

□(1) — 線①「目立つこと」とは、具体的には、だれが何をすることですか。
「ことと。」という形で、書いて答えなさい。

ことと。

□(2) 【】の部分から読み取れる、父親と母親とに共通する気持ちとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 自信家で、自慢話ばかりする歌子を苦々しく思う気持ち。
イ お人好しで、たのまれると断れない歌子を心配する気持ち。
ウ 出しやばりで、目立ちたがり屋の歌子に腹を立てる気持ち。

エ 活動的で、人望も厚いらしい歌子をほこらしく思う気持ち。

□(3) — 線②「チヅルはそうじ当番を終えるなり、家にとんで帰った」から読み取れるチヅルの気持ちとして最もふさわしいものを次から選び、記号

で答えなさい。

ア 選挙に出る歌子のために、少しでも役立ちたいと思う気持ち。

イ 選挙のために集まる歌子たちのじやまをしようとする気持ち。

ウ 歌子たちの集まりに対して、興味・好奇心をいたく気持ち。

エ 歌子が当選できるかどうかが気になり、心配に思う気持ち。

□(4) — 線③「くやしくて、ふくれている」とありますが、チヅルは、どんなことが「くやしくて、ふくれている」のですか。「歌子がことと。」という形で、書いて答えなさい。

歌子が
ことと。

□(5) — 線④「おかあさんに言いつけるよ」とあります、歌子が「おかあさんに言いつけ」ようとしていることの内容を、「ことと。」という形で、書いて答えなさい。

ことと。

□(6) ① ③ に入る最もふさわしいことばを、それぞれ次から選び、記号で答えなさい。

- ア あっさりと イ うわずつた声で
ウ こつそりと エ あまつたれた声で

①
②
③
<input type="checkbox"/>

□(7) — 線⑤「チヅルはぽかんと見上げていたが、不意に目じりに涙が浮かんできた」とあります、チヅルが泣いた理由として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 姉の歌子に、自分がまるでじやま者のようにあつかわれたことが悲しかったから。

イ 姉の歌子に大事な用事があるために、いつしょに遊べないことがさびしかったから。

ウ 妹の自分にいろいろと気をつかってくれる妹の歌子の思いやりがうれしかったから。

エ 妹の自分にカルピスもお菓子も分けてくれない、けちな妹の歌子が情けなかつたから。